

2nd Year Class Revue

2023年1月27日(金)	18:00 開演 (17:30 開場)
1月28日(土)	14:00 開演 (13:30 開場)
	17:00 開演 (16:30 開場)
1月29日(日)	13:00 開演 (12:30 開場)
	16:00 開演 (15:30 開場)

洗足学園音楽大学 キッズスクウェア 1F
MUSIC POOL CINO

主催：洗足学園音楽大学・大学院



ご挨拶

本日はお忙しい中ご来場いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃から本学並びにミュージカルコースにご協力・ご理解いただき、感謝しております。

さて、この 2nd Year Class Revue は、2 年生による後期授業の成果発表という位置付けになります。アンサンブル実習とシーンスタディという実技系の必修授業で、昨年 9 月から取り組んできました。題材にしたのは、不朽の名作ミュージカル『コーラスライン』。若者たちが、コーラスという役名のないキャストでもいいから「ブロードウェイの舞台に立ちたい！」と熾烈なオーディションに臨むという設定は、学生たちの現在や近い将来に重なります。数年前より、2 年生は後期にこの作品に取り組んでもらっています。

作中の登場人物たちは来る日も来る日もオーディションに挑み、悔しさや辛さを味わいながらも役者やダンサーを続けています。その切実さ、緊張、欲望、勇気といった想いはどのようなものを体感し、想像してもらうために、今年は 9 月の 1 ヶ月間をオーディション期間として、毎回の授業をオーディションとしました。そして、同じ役を競って切磋琢磨してきたライバルであり仲間と明暗が分かれることの残酷さも、追体験してもらうことになりました。

『コーラスライン』を原作としていますが、上演時間、出演者の人数、ジェンダーバランスなどによって、オリジナルの要素を取り入れています。そのため、原作とは違う役の性格やセリフになっているところが多々ありますことをご承知おきください。また、上演の冒頭には『コーラスライン』の登場人物としてではなく、学生が自分自身として、舞台芸術を目指すきっかけや人生における岐路、そして現在の想いをモノローグで語る場面があります。各グループの学生全員が互いのモノローグを見た上で、担当する 3 人を選びました。この作業を通して、学生たちの互いへの共感とリスペクト、理解が進んだように感じます。

キャスティングをしてから今日の本番に至るまで、学生たちは 5 つのグループに分かれ、それぞれのグループ単位でディスカッション、ディベート、クリエーションを重ねてきました。そのため、同じ台本、同じ楽曲でありながら、グループごとの独自の解釈や視点が生まれ、それぞれの個性や魅力の違いへと結びついています。別グループの作品を観ることによって、作品の可能性と表現の多様性に気づいてもらうこともまた、この 2nd Year Class Revue での大きな学びとなるはずです。同期だけによる本公演が、学生たちのさらなる成長のきっかけになることを教員一同願っています。

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。



Story

1975年の初演以来、世界中で上演されている『コーラスライン』。コーラスラインとは、舞台上に引かれた1本のラインのこと。そのラインはメインキャストではないコーラスダンサーが並ぶラインだ。

ショービジネスの街、ブロードウェイ。とある劇場で新作ミュージカルでのコーラスダンサーを選ぶオーディションが行われている。オーディションは最終段階、残ったメンバーに演出家であるザックが告げる。

「君たちの写真と履歴書はもらった。だけどそういう情報だけじゃなくて、君たちそれぞれが本当にどういう人なのかが知りたい」

戸感いながらも、一人一人が自分の人生を、時に赤裸々に、時にユーモラスに語り始める。自分の人生では誰もが「主役」であり、それぞれに境遇や悩みという「ドラマ」があることが見えてくる。自分自身の過去を思い出し、互いの話に耳を傾ける時間は、やがてオーディションでの競争相手から、共に舞台を愛する仲間へと関係性を変えていく。

そんな中、ザックが再び問いかける。

「もし今日を限りに踊れなくなるとしたら、君たちはどんなことを思う？」

本音のぶつかり合いの末、「一つの想い」に辿り着くが、この場はオーディション、ザックの口から選ばれた者と選ばれなかった者が告げられる。



Play List

M1 : I Hope I Get It

M3 : At The Ballet

M5 : Montage

M7 : Dance:Ten, Looks:Three

M9 : What I Did for Love

M11 : Bows • Curtain Call

M2 : I Can Do That

M4 : Sing

M6 : Nothing

M8 : The Music and the Mirror

M10 : One



Cast

A

江上まり
蒲生彩華
関キメイ

B

長田美空
工藤実結
末永弥咲

e

入江十和歌
竹内風鈴
竹内彩夏

D

櫻木いずみ
中村すみれ
正木寧々花

E

長友リサ妃美子
平林理香子
山本菜麗

モノローグ

ザック

ミッシェル

シーラ

ビビ

マギー

クリスティーン

アリス

ジュディ

コニー

ディアナ

ヴァル

キャシー

ヴィッキー

エミリー

池田航汰

池上愛未

尾崎愛

内川真羽

蒲生彩華

青山京子

石上美来

岡田梨那

大西百々子

池田彩純

祐実

関キメイ

江上まり

上田結心

北田弥玖

上妻萌恵

末永弥咲

ゴイッケン

工藤実結

伊藤たみ

荻原彩那

鈴木くるみ

長田美空

佐々木徳子

中川姫奈

倉科風香

齊藤千紘

武智華乃音

恩田真帆

坂井田祥子

鈴木愛海

笹本なつみ

灰崎琳子

入江十和歌

竹内風鈴

中村恵香

寺田このは

佐藤美陽

長島楓夏

長島かのん

竹内彩夏

武野りさ

林大航

櫻木いずみ

尾崎愛

白石琴乃

三木理紗子

北川満萌

本田栞渚

正木寧々花

中島星來

中山愛梨

西村雪花

ヒナゴ茉莉乃

中村すみれ

田代菜摘

中嶋尚哉

野呂澄鈴

山本菜麗

白石琴乃

水野月葉

平井涼

丸山穂葉

三浦萌々華

寺田このは

長岡江菜

宮澤るしあ

平林理香子

中村美友

長友リサ妃美子



Musical Ensemble

Conductor	篠原真
Piano	小林千夏
Bass	永瀬脩希
Drums	山口友郎 (4)
Electric Organ	稲葉絢音 (3)
Percussion	清水優 演奏日：28日(土)・29日(日) / 小山梓 (3) 演奏日：27日(金)



Staff

照明	瀬戸あずさ	ピンスポット操作	稲田美月 (1) 井上あや (1) 菅原紗良 (1) 竹内陽音 (1) 武田弓果 (1)
音響	株式会社 TACT		
舞台監督	長沼仁		
演出	倉迫康史	その他	伊藤真 (2) 塩入充彩 (2) 金澤麗奈 (2) 浅井菜々子 (1) 藤田理子 (1) 川田未桜 (1) 田澤佳澄 (1) HAO YIPIN (1)
振付&ダンス指導	関与志雄 ダイアナ・ボール・石山 堂園愛子 平塚美和子		
歌唱指導	青木さおり 瀧本瞳 武田直之		
演技指導	家田淳 倉迫康史 田野邦彦		
稽古ピアノ	井上友美 小林千夏 小林瑤子 西寿菜 星野苗緒 福島未紀		

スケジュール係
中村すみれ
武野りさ

音楽係
大西百々子
工藤実結
坂井田祥子
鈴木くるみ
中嶋尚哉

広報係
江上まり
佐藤美陽
田代菜摘

衣装係
白石琴乃
平井涼
平林理香子
水野月葉
宮澤るしあ

音響係
竹内彩夏
長岡江菜

ダンス係
内川真羽
齊藤千紘
坂井田祥子
櫻木いずみ
鈴木愛海
中川姫奈
中村すみれ
長島かのん
平林理香子
水野月葉

経理係
池田航汰
中嶋尚哉
橋本紗奈

台本係
北田弥玖
上妻萌恵
中山愛梨

舞台係
北川満萌
佐々木徳子
鳥畑妃美子
灰崎琳子
本田菜渚
丸山穂葉

香盤係
上田結心
尾崎愛
祐実

稽古場サポート
角山友実子
日向渚
小山更紗
澤田りりか
高見さくら
鳥畑妃美子
新部愛果
橋本紗奈
舟橋加倫
森越凜音
結月花